

12月定例会のあらまし

12月定例会は、11月24日から12月17日までの24日間の会期で開催されました。

初日には全会一致で人権擁護委員候補者の推薦を適任とし、監査委員の選任を同意しました。また、弥富市議会に「市議会正常化」を求める請願書を全会一致で可決しました。

その他、令和2年度弥富市一般会計補正予算（第8号）など22議案、JR・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎化事業に関する請願書が提出されました。中日には弥富市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正についてなど5議案を全会一致で可決、令和2年度弥富市一般会計補正予算（第9号）など2議案が追加上程されました。所管の委員会に付託、審議し、議案は全て原案どおり可決、請願は不採択となりました。

最終日には、令和2年度弥富市一般会計補正予算（第10号）が追加上程され、全会一致で可決しました。また、議員発議で意見書1件を全会一致で可決しました。

本会議初日



請願第1号
弥富市議会に
「市議会正常化」
を求める請願書

請願者：名古屋市民オンブズマン代表 新海聡

◆請願の趣旨

弥富市議会において、以下の2点を確認する決議をされるよう、求める。

- (1) 弥富市議会議員および同市議会議員になろうとする者が、地方自治法にもとづいて住民監査請求および住民訴訟を提起することを自由に行なう。
- (2) 弥富市議会議員および同市議会議員になろうとする者が、議会以外の場において、適法な手段で行政を監視し、是正をしようとする行為を自由にできること。

問 この請願は可決して終わりではない。中身の議論する場を考えているか。

答 改革協議会等が想定される。

賛成 佐藤仁志議員

議会の調査力、対話力、共生力の正常化が必要。少数意見を排除せず多くの意見を取り入れ市民に問い、修正を繰り返すことが民主主義的な態度であり、現実的な改善の繰り返しが保守的な態度である。請願は議会が生まれ変わる糧になる。

本会議中①



本会議中②



本会議最終日



請願第2号
JR・名鉄弥富駅
自由通路及び
橋上駅舎化事業
に関する請願書

◆請願の趣旨

弥富市の負担が大きい事業計画を見直して、バリアフリー化に絞った計画への見直しを求める。

賛成

那須英二議員
佐藤仁志議員
板倉克典議員

財源は潤沢ではない。市民の交通や災害時の命の安全のために優先的に使うべき。市民はまちづくりや市政に参加を求めている。3月の覚書にこだわり、今あせる必要は無い。市民の声を聞き議論する時間が必要である。

討論

反対 堀岡敏喜議員

請願の提案理由のほとんどには説明が付き、主旨である事業の見直しに関しても紹介議員から明確な回答はなかった。これまでの経緯をしっかりと把握し、市民に説明すべき。

◆請願事項

- (1) 弥富市の負担割合が極端に大きい自由通路方式を見直すこと。
- (2) 駅のバリアフリー化事業を支援すること。
- (3) JR・名鉄弥富駅の北側に改札口を設けること。

意見書の提出

◆防災・減災、国土強靱化の更なる推進の更なる推進の更なる推進についての意見書の提出
提出先【衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、国土強靱化担当大臣、内閣府特命担当大臣（防災）】